

最強のふたり

観賞日 2025 年 4 月 28 日 上映時間 112 分

【概要】

制作 2011 年 フランス

監督・脚本 エリック・トレダノ、オリヴィエ・ナカシュ

音楽 ルドヴィコ・エイナウディ

撮影 マチュー・ヴァドヴィエ

出演 フランソワ・クリュゼ（フィリップ）、オマール・シー（ドリス）

オドレイ・フレロ（マガリー）、アンヌ・ル・ニ（イヴォンヌ）



【あらすじ】

パリ市内の豪邸、屋敷の主フィリップの介護人を選ぶ面接。フィリップはパラグライダーの墜落事故で首から下が麻痺してしまっていた。面接に訪れた者は、異口同音に自分のセールスポイントを訴える。そんな中、一人の黒人青年にフィリップは目を止める。その青年ドリスはスラム街に住み、失業手当を受給するためにやって来たと話す。フィリップは周囲の反対を押し切って、粗野だが正直で腕力が強いドリスを採用する。ドリスはフィリップの屋敷に住込み、フィリップの手足となって働くことになる。やがて、フィリップをはじめ屋敷内の人々もドリスの存在を認めドリスに心を開くようになる。最愛の妻を亡くし、目下独身のフィリップには文通相手がいたが、フィリップは自分が障害者であることを言い出せないでいた。フィリップはドリスの家庭環境を考慮して関係を終了する決意をする。しかし、その後ドリスの存在の大きさに気づきドリスを呼び寄せる。ドリスはフィリップには内緒で文通相手とのデートをセットして・・・。

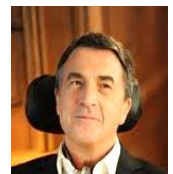
実話をもとにして、フランス国内はもとより、世界的に大ヒットしたヒューマンドラマ

【解説】

■ポイント

●フランソワ・クリュゼ（1955 年～）

パリ出身。演劇学校卒業後 80 年に銀幕デビュー。「殺意の夏」（83 年）で注目を浴びる。フランス国内ではテレビ・舞台でも活躍し、その後アメリカにも進出。本件で東京国際映画祭最優秀男優賞を受賞。



●受賞

- ・2013 年第 36 回日本アカデミー賞：最優秀外国作品賞
- ・2012 年第 37 回セザール賞：9 部門でノミネートされ下記 1 部門で受賞
主演男優賞受賞（オマール・シー）

■見どころ

- フィリップが周囲の反対を押し切ってドリスを雇い、ドリスに心を許した理由は
- 境遇が全く違う二人
フィリップ：白人、富豪、中年、障害者、クラシック音楽愛好家
ドリス：黒人（移民）、貧乏、青年、健常者、ダンスミュージック好き
- フランス国内における移民の地位